



十三次 四旦市(人物東海道)



歌川広重筆 嘉永五年(1852)版

「人物東海道」と呼ばれるシ リーズのひとつ。このシリー ズは、縦長の画面に人物が大 きく描かれることからこの名 がついている。通常の風景画 と異なり、人物の表情や仕草 がよくわかるのが特徴である。

本図は、湊を背景に佇む男 女三人が描かれる。近辺に住 む者なのか、宿で一息ついた 旅人なのかは定かでないが、 女性が顔を男性に向けながら 話しかけ、男性がにこやかに 応じている様子が明瞭である。 軽い服装や履物、そして帆を たたんだ船々が、のどかで落 ちついた空間の広がりを上手 く演出しているように感じる。

穏やかに打ち寄せる波や踏 み鳴らす下駄の音が聞こえて きそうである。保永堂版五十 三次とは、ひと味違う叙情性 の溢れる作品である。

(市立博物館学芸員・

田中伸一)



四日市市立博物館蔵

10月25日

主な内容

No.751

◆ 秋の四日市祭&ばんこ祭り ········P 4

◆ 三重大学と地元企業のシーズ・ニーズマッチングセミナー・・・P 5

◆ 議員懇談会の経済講演会 ………P5

◆ 人と企業の活力化フォーラム ……P6 ◆ 中小企業相談所コーナー ·······P 7 ◆ 会員&企業ひろば ………P8~9

◆ 女性部・青年部コーナー ······· P 10

◆ 新商品のご案内 (九鬼産業㈱) ··· P 11

◆ 海外展開支援コーナー ………P11

◆ 続・よっかいち歴史浪漫紀行(北野保氏) · · · P 12